



# ラゲッジボックスオープナーキット 取扱説明書

商品番号：05 09 0026

適応車種およびフレーム番号

HONDA

NC700S RC61-1000001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ～特徴～

NC700Sに本キットを取り付ける事で、イグニッションキーはメインスイッチに挿したままで、エンジン運転中であってもプッシュスイッチ一押しでラゲッジボックスリッドを開ける事が出来るようになり、ラゲッジボックスがより一層使い易い物となります。

また、純正と同様にイグニッションキーで開ける事も、もちろん可能です。

NC700S専用ハーネスを設計してありますので、純正配線を切断したりする必要はありません。

ボルトオン・カブラーオンで配線作業は終了します。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

当製品に使用しているオープナーモーターCOMP.は、高出力タイプを使用しておりますので、動作中は大きな電力を消費します。

ラゲッジボックスオープナーのプッシュスイッチを長時間押していると、バッテリー上がりやモーター加熱を防ぐ為の安全装置が働き、モーターへの電力を遮断します。その際に、リレーユニットCOMP.が高温になりますのでご注意下さい。

また、リレーユニットCOMP.が高温の間は動作しませんので、しばらく冷却させて常温に戻ってからご使用下さい。

オープナーモーターCOMP.とリレーユニットASSY.は防水構造ではありません。必要以上に水がかかったりしないように、本取説に指示されている場所に取り付けを行なって下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

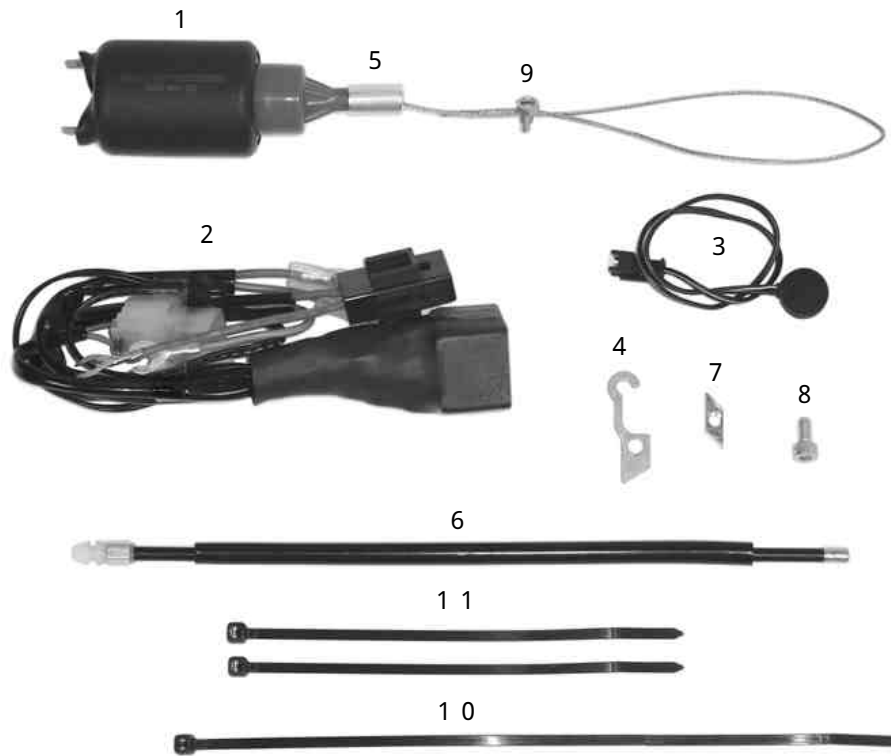
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	オープナーモーターCOMP.	1	3 6 5 0 0 - M G S - T 0 0	1
2	リレーユニットASSY.	1	3 8 3 0 0 - M G S - T 0 0	1
3	プッシュスイッチ	1	0 0 - 0 5 - 0 0 7 0	1
4	ケーブルガイド	1	8 1 3 1 1 - M G S - T 0 0	1
5	ケーブルアウターカラー	1	8 1 3 1 2 - M G S - T 0 0	1
6	ケーブルアウター	1	8 1 3 1 3 - M G S - T 0 0	1
7	菱形ナット M5 X 6.3 X 1.4	1	0 0 - 0 0 - 0 5 3 9	2
8	ソケットキャップスクリュー 5 X 1.0	1	0 0 - 0 0 - 0 3 1 7	6
9	ワイヤーロックスクリュー	1	0 0 - 0 0 - 0 4 7 7	1
10	タイラップ 250mm	1	0 0 - 0 2 - 0 2 0 2	10
11	タイラップ 150mm	2	0 0 - 0 0 - 0 2 2 2	10

5 .ケーブルアウターカラー及び9 .ワイヤーロックスクリューは、1 .オープナーモーターCOMP .に取り付け済みです。

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

2 .リレーユニットASSY .に使用している30Aヒューズは、弊社ではリペアパーツを取り扱っておりません。

同形状の30Aヒューズを販売店でお買い求め下さい。

## ～取 り 付 け 要 領～

- ・水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
- ・必ずイグニッションキーがOFFの状態で作業を開始して下さい。

### 外装及びラゲッジボックスの取り外し

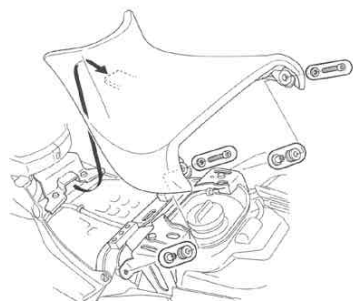
- ・純正サービスマニュアルを参照し、外装類を取り外します。

△注意：本取説での外装類取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。

外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順に従い作業を行って下さい。

またカバー類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

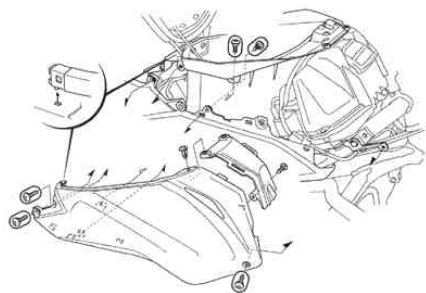
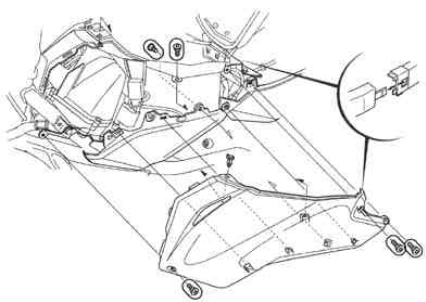
1. ピリオンシート（タンデムシート）を開き、シングルシートを取り外します。



2. L .サイドカウル / R .サイドカウルを取り外します。

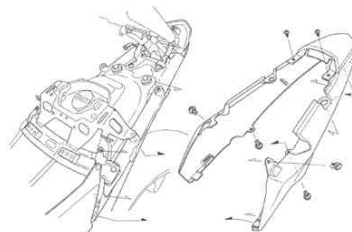
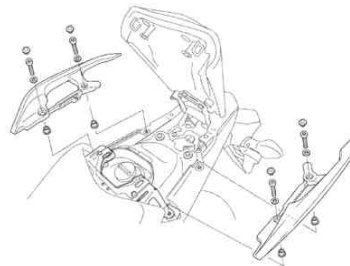
△注意：ラゲッジボックス内側からサイドカウルを固定しているスクリーンが有り、スクリーンを外さなければ、カウルは外れません。

また、部位により段付きスクリーンの首下長さ及び、スクリーン径が異なりますので、再組立時に必ず元の場所に取り付け出来るように注意して作業を行って下さい。

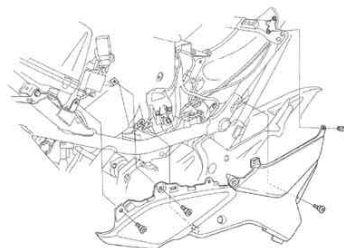


3. グラブレールとシートカウルを取り外します。

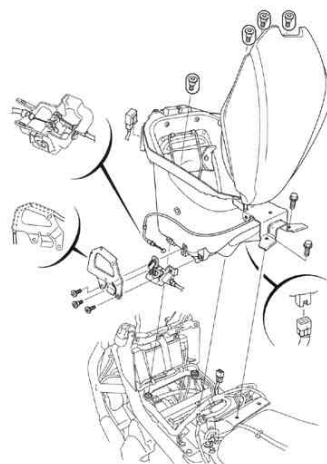
△注意：グラブレール及びシートカウルを外さなくてもサイドカバーを外す事は一応可能ではありますが、注意深く作業しなければカウル類に無理がかかり部品を破損する恐れがあります。安全・確実に作業を行う為には、サービスマニュアルの手順に従い、シートカウルを外すことを推奨します。



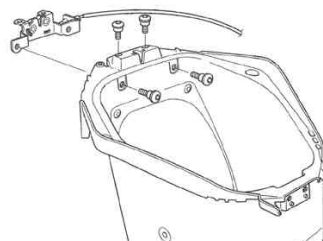
4. サイドカバーを取り外します。



5. ラゲッジボックスを取り外します。

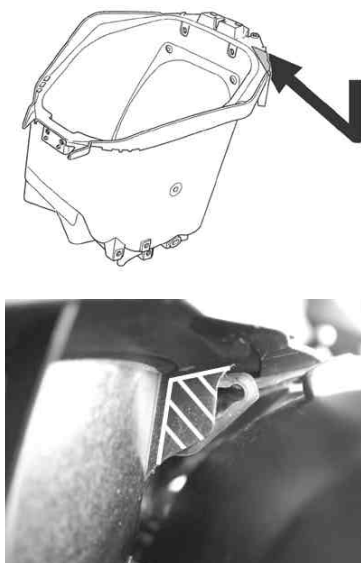


6. ラゲッジボックス前部に固定されている、ラゲッジボックスリッドキャッチを取り外します。



## ラゲッジボックスの加工

ラゲッジボックス前端裏面の斜線部分をニッパー等で切除します。



## ラゲッジボックス及び部品類の組み付け

△注意：オープナーモーターCOMP.のケーブル先端は非常に鋭利になっていますので、作業時は手などを傷つけない様に十分注意して下さい。

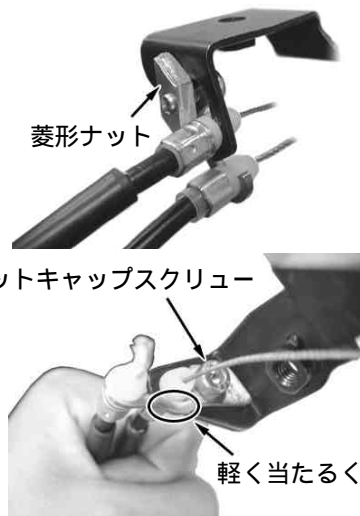
1. ケーブルアウターに オープナーモーターCOMP.のケーブルを通します（ケーブルアウターは ケーブルアウターカラーの奥まで差し込んで下さい。）



2. ケーブルアウター端の樹脂部に ケーブルガイドを取り付けます。



3. 図を参考にし、リッドキャッチCOMP.に ケーブルガイドをソケットキャップスクリュー、 菱形ナットで取り付けます。（取り付け方向に注意して下さい。）



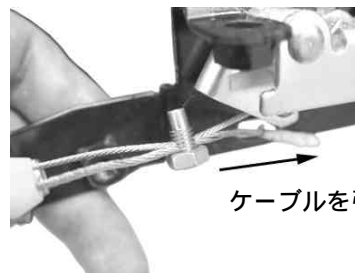
4. ワイヤロックスクリューを使用し、純正のケーブルに オープナーモーターCOMP.のケーブルを仮付けします。この時、ワイヤロックスクリューは出来るだけ、ケーブル先端の方に取り付けして下さい。



5. オープナーモーターCOMP.を図の場所に タイラップ250mmで取り付けます。（ケーブルはラゲッジボックスとエアクリーナの間を通し、 オープナーモーターCOMP.が動かないようにしっかり固定して下さい。）



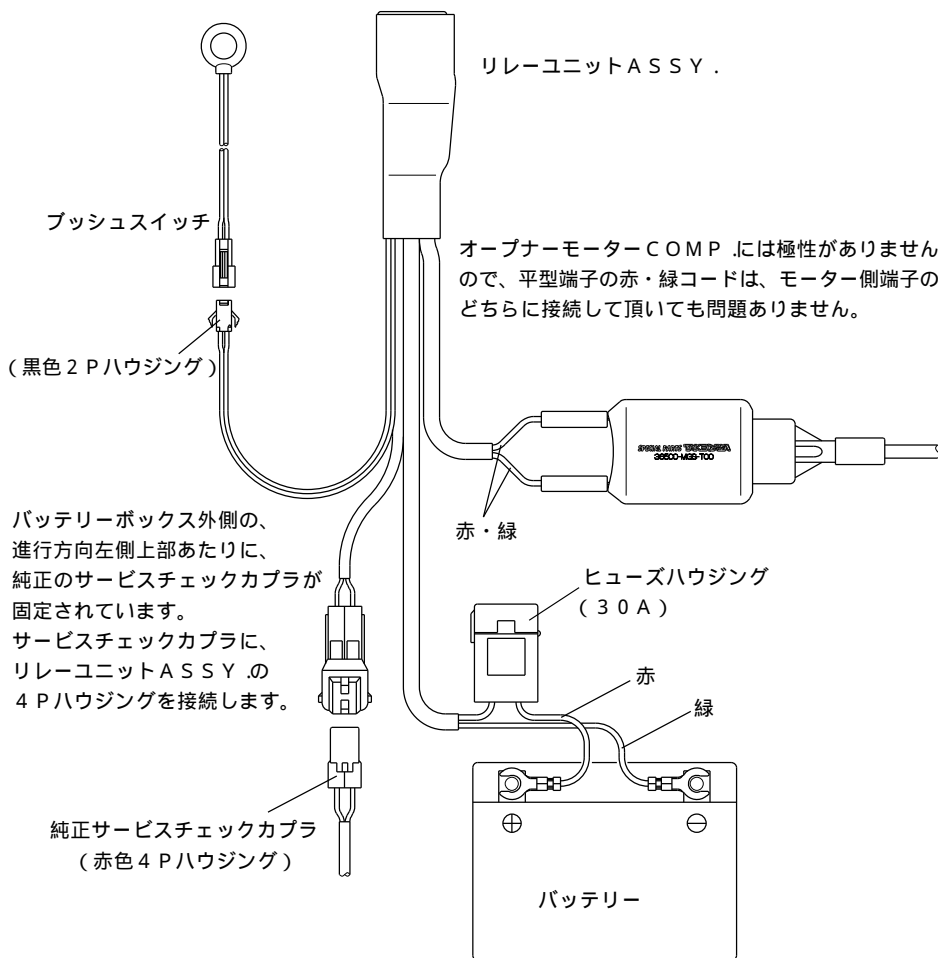
6. 先ほど仮付けした オープナーモーターCOMP.のケーブルを完全に引き出し、ケーブルのたるみをなくします。（この作業を省くと正常に作動しない可能性があります。確実にケーブルを全て引き出して下さい。）



7. ワイヤロックスクリューのネジを外れないように締め付けます。
8. リッドキャッチCOMP.をラゲッジボックスに取り付けます。
9. ラゲッジボックスを車両に取り付けます。

## 配線の接続

・下図を参考に、リレーユニット A S S Y . の各配線を接続していきます。



リレーユニット A S S Y . から出ている 2 本の平型端子を、オープナーモーター C O M P . に接続します。オープナーモーター C O M P . に極性はありませんので、どちらに接続しても問題ありません。

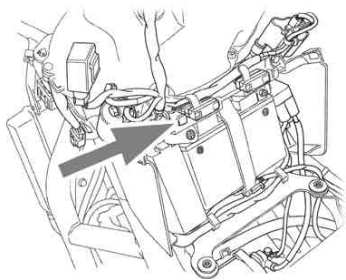
リレーユニット A S S Y . から出ている、赤色コードのクワ型端子ををバッテリーの + 極に共締めします。

バッテリー上部左側あたりにある、純正のサービスチェックカブラ (赤色 4 P ハウジング) に、リレーユニット A S S Y . から出ている 4 P ハウジングを接続します。

リレーユニット A S S Y . から出ている 2 P コネクタに、プッシュスイッチを接続します。

最後に、緑色コードのクワ型端子をバッテリーの - 極に共締めします。

・純正サービスチェックカブラ位置



## 動作確認

1. 外装を復旧する前に、動作確認を行います。先程接続したプッシュスイッチを、ラゲッジボックス外側から操作出来る部分まで仮に引き出しておきます。
2. イグニッションキーを ON にしプッシュスイッチを押し下げると、リレー及びオープナーモーターが動作し、ラゲッジボックスリッドキャッチをリリースする事を確認します。

△注意：プッシュスイッチを押し下げている間は、オープナーモーターが電力を消費します。長時間押ししたまま (リレーユニット A S S Y . 本体温度などの諸条件にもよりますが、5 ~ 10 秒程度) にすると、電力を遮断する安全装置も備えておりますが、バッテリー上がりなどの無用のトラブルを避けるため、動作させる際は必要以上に押し続けられない事をお勧めします。

3. 動作に問題が無ければ、一度ラゲッジボックスリッドを閉じ、プッシュスイッチを押す事で開ける事が出来るか確認します。

## 外装の復旧・プッシュスイッチの取り付け

1. 動作に問題がなければ、リレーユニット A S S Y . をラゲッジボックス裏側、オープナーモーター上方あたりに設置し、必要に応じて適宜タイラップ 150 mm で固定します。
2. 外装を取り外した逆手順で、元通り組み立てていきますが、その際にプッシュスイッチをラゲッジボックスリッド前など、お好みの場所に設置して組み立てして下さい。

△注意：外装の合わせ目などからスイッチのコードを引き出す場合は、あまり強くコードが挟まれると断線の原因となりますので、必要に応じてコードの通る部分の外装を少しカットするなどして対処して下さい。



〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL <http://www.takegawa.co.jp>

株式会社 SPECIAL PARTS 武川